

**ついに、Y S Cも早期定年退職募集を開始！！**

**IBM、関連会社は社員の雇用と職場に責任を持て！**

**IBMは野洲事業所の工業団地化、**

**解散路線を止めよ！**

か い な

号 外

(2004年01月22日)

JMIU 日本 IBM 支部

野 洲 分 会

責任者 北川定

- ・ I B Mに帰任した社員に、本人の希望を尊重した新しい職場を提示せよ。
- ・ Y S C、日立G S Tへの「移籍」をI B Mからの出向に戻せ。

意見は、組合ホームページ : <http://www.bekkoame.ne.jp/i/jmiu-ibm>

組合e-mail : [jmiu-ibm@i.bekkoame.ne.jp](mailto:jmiu-ibm@i.bekkoame.ne.jp) までお寄せください

労働相談一般は、滋賀県労働組合総連合

(Tel.077-521-2536 Fax.077-521-2534 e-mail : [kenroren@mb1.kisweb.ne.jp](mailto:kenroren@mb1.kisweb.ne.jp))

### **Y S Cを滋賀地方労働委員会に不当労働行為 で斡旋申請をしました。**

組合は、12月25日に『エプソンへの転籍、再雇用問題』に関してY S Cと団体交渉を持ちましたが、こちらの質問に対する応答は不誠実なものでした。そこで組合は今年14日、会社に質問状(裏面参照)を出し、その回答と団交に応じるよう申し入れました。今週、19日には、その返答がありましたが、その中身は「質問状には回答しない」、「団交には応じない」というものでした。

組合は、これを不当労働行為に当たるとして滋賀地労委に『斡旋』を申請しました。内容は、「質問状には誠実な回答をすること」、「団交に対して誠実に応じること」、また、「団交には社長・役員が出席すること」の3点です。

組合はこれまでにY S Cと十数回の団交を重ねていますが、一度も社長・役員の出席はありません。社員の将来がかかっている問題に対して、今回、会社がこのような対応をしたことは、親会社のエプソンも含めて、会社としての資質に問題があるように思われます。

### **日本IBMを不当労働行為で滋賀県労働委員会 に斡旋申請をしました。**

第二スペシャルプロジェクト(IDT/DTI出向帰任者)では課員に対して一年以上もまともな仕

事を与えずにe-learningを続けさせ、あげくに、A担当は、「仕事をやってないのだから評価はD(最低)だ。」という始末。

組合は、一年以上に渡って、本人の適性にあった仕事、職場を与えるようI B Mに求めてきました。しかし、会社は「今月から来月には何とかしたい(2003年8月団交での会社発言)」と言うだけで、現在に至っても何ら納得のゆく回答はありません。

1月19日、組合は、早く本人の適正に合った仕事、職場を与えるよう地労委に斡旋申請をしました。

今回の申請は、決して組合員に限定したものではありません。I B M帰任者が本人の適正を欠いた仕事を与えられて、延々とやらせている姿は、I B Mのリストラのやり方の一つです。とても、世界に向かって社会貢献をしている会社のする事とは思えません。非常識です。

### **組合掲示板について**

健康管理室前(1号ビル2階社員ルーム前)に組合掲示板が設置され、組合情報を掲示しています。

- 10) 300mm 銅半導体ラインの新設をしないのはエプソンの資金理由と説明があった(2003年1月31日)が、その新設がなくなった今、社員を移籍しておく理由は無いはずである。IBMからの出向にさせない理由は何か。
- 11) 2年前の移籍のときには早期退職募集、賃金抑制、就業条件の変更など不利益変更の話は無かった。300mm 銅半導体ラインの新設もなくなった今、これらの不利益変更は単に経営環境が変わっただけではすまされない問題であり、経営者としての資質を問われる問題である。経営者の責任はどうなっているか、具体的かつ明確に示せ。
- 12) エプソンおよびIBMはこのYSCをどのようにしようとしているか、その長期経営計画を示せ。同時に、移籍の時に社員に対して示した長期計画があったがその後どうなったのか。経営環境が変わったのであればどのように変わり、その結果どうなったのかを時系列的に、かつ、具体的に示せ。

2. 回答をもって団体交渉を申し入れます。したがって、  
1月21日までに回答書面を組合へ提出すること。  
なお、団体交渉の期日は1月23日16:00から。場所はYSC会議室とします。

以上

2004年1月14日

野洲セミコンダクター(株)  
代表取締役社長 玉井嗣夫 殿

全日本金属情報機器労働組合  
日本アイビーエム支部  
中央執行委員長 比嘉 恒雄  
【公印省略】

同  
日本アイビーエム支部 野洲支部  
執行委員長 木村 隆  
分支部 J I M  
本部 I B U  
之野 B U  
印洲 M E

### 転籍・エプソンへの再雇用に関する質問状

1. 今回の転籍発表は各課の課長等から話があったが、
  - 1) エプソンへの再雇用がらみの転籍であるにもかかわらず、エプソンのしかるべき担当者が説明しないのはなぜか。
  - 2) なぜ、会社として重大な内容を課長等を使って個別に伝達したのか。社長や役員自らが発表しない理由は何か。  
今回の転籍は、YSCの待遇ではなくエプソンの待遇になっているのはなぜか。転籍に応じない者への差別待遇はないか。
  - 3) YSCとして重大事項にもかかわらず、公開の席上での発表・質疑応答にしないのはなぜか。また、YSCとしてこの発表をどう考えているのか。
  - 4) なぜエプソンの面接試験が必要なのか。
  - 5) 面接試験は、どのような内容で、誰がやるのか、その中身を具体的に示せ。
  - 6) 退職加算金や再雇用賃金の算定式を明確にせよ。
  - 7) 一方のIBMについての処遇が無いのはなぜか。  
今この時期にエプソンへの転籍・再雇用制度を作った理由は何か。
  - 8) エプソンへの対応が今回このような形で示されたのであれば、IBMへの対応も同時に示され、YSC社員が選択できるようにするのがYSC会社としての責務であると考えるが、YSCとしてそのような考えはなかったのか。
  - 9) 半導体の生産が世界的に好調にもかかわらず300mm 銅半導体ラインの新設をしないのはなぜか。